



関西電力 power with heart

関西電力グループは、私たち自身のゼロカーボン化はもちろん、社会全体のゼロカーボンにも取り組んでいきます。そのため、お客さまや事業パートナー、自治体などあらゆるステークホルダーの皆さまと力を合わせて進んでいきたいと考えています。

ゼロカーボンに向けた取り組みについて、ホームページで詳しくお伝えしています。
<https://www.kepco.co.jp/>

関西電力 ゼロカーボンロードマップ 検索



<https://www.kepco.co.jp/>



わたしたちの仕事

関西電力は、家庭や学校、工場、鉄道など、さまざまな場所で必要となる電気をつくっています。電気は、発電所で作られます。水が高いところから低いところへ落ちるときの力を利用する「水力発電」、天然ガスや石炭などを燃料にして「火力発電」、ウランを燃料としている「原子力発電」、そして、太陽光や風力などの「再生可能エネルギーを利用した発電」などがあります。

●環境配慮の取り組み～発電時に二酸化炭素を排出しない発電～

地球がだんだん暖かくなる地球温暖化。気温が上がって、住んでいる環境が今までと変わってしまったら、多くの生きものが困ってしまいます。生物多様性を守るためには、地球温暖化の原因となる「温室効果ガス」の排出を減らすことが大切です。関西電力グループでは、温室効果ガスのひとつである二酸化炭素を発電時に排出しない発電（原子力発電・水力発電・太陽光発電など）に取り組んでいます。また、火力発電所では、効率よく発電できるように設備の維持・向上をはかることにより、二酸化炭素排出量を低くおさえる工夫をしています。



おおい 大飯発電所（原子力）



だ だいら 出し平発電所（水力）



有田太陽光発電所



ひめじ 姫路第二発電所（火力）

環境を守る取り組み

森はたくさんの生きもののすみかです。鳥や虫、木だけでなく、土の中にも目に見えない生きものがたくさん暮らしています。しかし、こうした生きもの大切なすみかである森が、人間の活動により、どんどんと減ってきています。関西電力グループでは、発電所などをつかった場所に、その環境にあった木を植え、自然に近い森を作る取り組みをしています。いろいろな場所で森が生まれ、たくさんの生きものがそこで暮らしています。



おくたたらぎ 奥多々良木発電所のビオトープ



ビオトープで観察されたモリアオガエル